

令和7度「地域コミュニティ活動支援事業」 採択された団体は下記5団体です。

代表者：藤井紀美子	あさお元気アップ・コミュニティネット
	誰でも自由に立ち寄れるオープンなサロンを開き、サロン開放時には、地域の医療、健康、介護、防災などのリソースを活用して、ミニ講座等の情報発信や血圧などの計測ブースや相談窓口を設け健康長寿の啓蒙活動を行う。 また、地域で活動する個人や団体等とも連携した催しを取り入れ、サロン利用者と地域のコミュニティを繋ぐ。 麻生区やその周辺に暮らす人々にとって、地域への愛着や安心感のある暮らしにつながる場づくりを行う。
代表者：小林由紀	かたひらほっとカフェ
	お互いが交流するための【同じ時間を過ごせる場所】を提供することにより、お互いへの理解を深める。また【住んでいる地域で開催】することにより、興味のあるイベントが開催されていても遠くまで足が運びにくい方も、また孤立・孤独を感じられる方も、社会参加の一步を踏み出しやすくなる。 地域の中で顔見知りが増えると、安心・安全で住みやすい地域社会が生まれ、また小さな心の悩みや困りごとの解決策への糸口を見つけることもでき、さらには大きな自然災害時のより早い対応にも役立つと考える。
代表者：小林貴子	かわさきミュージックチャレンジ
	障がいの有無を関係なく人との繋がりを音楽やダンスなどを楽しむことによって広げていく。コンサートを通し個々の存在価値を感じ、誰もが自己肯定感と他者への理解を深め、より住みやすい街・ノーマライゼーションのマインドを持つ街、お互いをリスペクトできる優しい街麻生区を発信する。 障がいのある方の多様性や参加のしやすさを考え、新しい試みとしてダンスのみを取り上げるイベントを同時開催する。
代表者：吉田静香	市民紙芝居・あさお
	紙芝居を通じて、楽しく地域のコミュニケーション作りを目指す。年齢・国籍などを問わず誰でも気軽に参加していただきたく「紙芝居の演じ手」「手作り紙芝居」の区民公募を行う。 イベントで演じる紙芝居は、出版紙芝居またはご自身が創った出版されていない紙芝居とする。 また、紙芝居の歴史年表パネルの展示、地域で人形劇の活動をしている団体にも協力いただき実施したい。
代表者：三浦清市	川崎安来節同好会
	放課後、児童預かり施設に於いて、日本民謡安来節の踊り（どじょうすくい踊りや銭太鼓踊り）の稽古を通じ、技倆の習得や伝統文化への理解を深める。 また、習得した技倆の発表の場として、地域行事（麻生区民祭り、麻生市民館サークル祭、神社の秋祭り等々）にも積極的に参加し、地域社会とのつながりを深める。